



オープンアクセスジャーナル投稿の際の 注意事項

熊本大学URA推進室

①オープンアクセス（OA）について

オープンアクセス（OA）とは

論文などの学術情報をインターネットから無料で入手でき、
技術的、法的にできるだけ制約がなくアクセスできるようにすること

出典1:栗山 正光 ハゲタカオープンアクセス出版社への警戒 情報管理, 2015, vol. 58, no. 2, p. 92-99
doi: <http://dx.doi.org/10.1241/johokanri.58.92>

オープンアクセス（OA）の方法と特徴

1 グリーンOA

著者最終稿等を国の施策として進めている機関リポジトリ等を活用し公開する方法

- ・ 予約購読型雑誌に掲載された論文の原稿を自分のWebサイトや機関リポジトリ等で無料公開するといった事
 - ・ 出版費用は図書館や個人が支払う購読料によって賄われている
 - ・ 無料公開できるのはあくまで原稿であって、雑誌（電子ジャーナル）の誌面そのものではない
 - ・ 公開禁止（エンバーゴ）期間を設けているものも多い
- このため、多少料金が高くても下記2のゴールドOAを選択するケースが多い

2 ゴールドOA

研究者等がオープンアクセスを前提とした学術誌等に研究成果論文を発表する方法

- ・ 読者が購読料を支払わなくても良い
 - ・ 一般にはAPCと呼ばれる論文掲載料を著者が支払う
- （APC：Article Processing Chargeの略。論文加工料・論文処理費・論文掲載料などさまざまに訳される）
- このAPC(論文掲載料) による収益を目的として刊行されたものがハゲタカジャーナル

②ハゲタカジャーナルとは
ハゲタカジャーナルの問題点・特徴

ハゲタカジャーナルとは

APC（論文掲載料）による収益を目的とした出版社が、
OA誌のビジネスモデルを悪用して刊行するジャーナルの事。
編集顧問・査読委員会による査読が適切に行われず、
掲載論文の質は保証されない。

出典1:栗山 正光 ハゲタカオープンアクセス出版社への警戒 情報管理, 2015, vol. 58, no. 2, p. 92-99
doi: <http://dx.doi.org/10.1241/johokanri.58.92>

ハゲタカジャーナルの問題点

1 研究成果について妥当性が疑われる

杜撰な査読によって、正当でない研究結果が論文に掲載されたとしてもGoogleなどで広まる可能性がある。また、研究成果が妥当なものだったとしても、正当な査読が行われていないという事で妥当性が疑われてしまう。

2 APC（論文掲載料）に関するトラブルが発生する

当初提示されたAPC（論文掲載料）よりも高額な請求がなされた事例があり、不当な掲載料の請求を受ける事が考えられる。

3 出版プロセスについて整備がなされていない

一度投稿してしまうと撤回に応じてもらえないという事例があった。この場合、二重投稿になるため他誌に同じ内容の論文を投稿出来なくなってしまう。また、出版後にどう保存されるかの体制について明記されておらず、論文に対する保証体制が不明というケースがある。

4 研究者個人や所属大学の社会的な評判の低下

ハゲタカジャーナルと疑われる雑誌に投稿したかという調査は可能な為、投稿した本人のみならず所属する機関の信頼低下を招いてしまう。

ハゲタカジャーナルの特徴

1 ジャーナルの対象トピックが広範囲である

あまりに広い分野を対象領域としたジャーナルは、正当なものではない恐れがある。例えば生物医学的なトピックと並んで非生物医学的なテーマが含まれる、等。

2 ウェブサイトにスペルや文法のエラーがある

ジャーナルのホームページにエラーが多いという事は管理・運営が杜撰である可能性が高い。

3 画像が歪んでいたたり、ぼやけていたりする

ジャーナル中の画像に注目して不鮮明なものがあると注意が必要である。使用された画像が未許可のものである可能性もある。

4 怪しげなジャーナル評価基準を用いている

例えばインデックス・コペルニクス・ヴァリュー（ICV: The Index Copernicus Value）をジャーナルなどの価値を示す指標として用いて宣伝するジャーナルがあるが、その信頼性は疑問視されている。

ハゲタカジャーナルの特徴

5 原稿の取り扱いプロセスの説明が不足している

正当なジャーナルであれば、論文を掲載するに至るまでの査読の基準や方法、手順などが明記されている。

6 迅速な掲載が約束されている

掲載までの期日はジャーナルによって異なるが、査読まで回った論文が1ヶ月も経たないうちに戻ってくることはあまりない。（出典2：SciRevの投稿者体験談からの統計 <https://scirev.org/>）

7 撤回についてのポリシーが書かれてない

規約にどのような時に論文を撤回する場合がある等と明記されていないと注意が必要である。

8 ジャーナルの中身をデジタルで保存するかどうか、どの様に保存するかについての情報がない

例えば有名なデータベースPubMedにジャーナルを収録する条件として、ダークアーカイブ（電子化されたジャーナルの長期保存を保証するサービス）へデータ連携する事が義務付けられている。

ハゲタカジャーナルの特徴

9 論文掲載料が非常に安い（たとえば150ドル未満）もしくは知名度の割に高い

2016年の主要OAジャーナル・APCの相場としては1,000～3,000ドルほどである。

出典3：英Jiscによる2016年の論文掲載料（APC）に関するデータ

(<https://scholarlycommunications.jiscinvolve.org/wp/2017/08/23/article-processing-charges-in-2016/>)

10 論文掲載料について明瞭に提示されていない

はっきりと料金を明示しておらず、後で高額な掲載料を請求されたというケースがある。

11 掲載された研究の著作権を出版社が所持し続ける事となっている・又は著作権に言及していない

通常のオープンアクセス・ジャーナルでは、著作権は著者に属することが保証されている。

12 連絡先のアドレスが無料のEメールアカウントである

正当な出版社は@ gmail.comといったフリーメールアドレスではなく、出版社固有ドメイン名のメールアドレスを連絡先としている。

ハゲタカジャーナルの特徴については、以下の出典4を元に加筆

Shamseer, Larissa, et al. "Potential predatory and legitimate biomedical journals: can you tell the difference? A cross-sectional comparison." BMC medicine 15.1 (2017): 28.
<https://doi.org/10.1186/s12916-017-0785-9>

②ハゲタカジャーナルとは ハゲタカジャーナルの問題点・特徴

③ジャーナル投稿の際のチェックリスト

出典5:Think. Check. Submit のチェックリスト
参考URL: <http://thinkchecksubmit.org/translations/japanese/>

ジャーナル投稿の際のチェックリスト

1 投稿予定のジャーナルについて知っているか

まわりの人に聞いても誰も知らないジャーナルであったり、Web検索を行ってもあまり情報が得られない場合は注意が必要である。

2 そのジャーナルに以前投稿された論文を読んだ事があるか

読んだ事が無いのであれば、確実な情報を得るために投稿予定のジャーナルに以前掲載された論文を探し、読む事をおすすめする。

3 そのジャーナルで最新の論文を容易に見つける事が出来るか

調べても簡単に最新の論文を見つける事が出来なかった場合は注意が必要である。

4 そのジャーナル出版社の連絡先がすぐに分かり、電話・メール・郵便で連絡が取れるか

連絡先がわかりやすいところに明記されていなかったり、メール以外の連絡手段で連絡が取れない場合は注意が必要である。

ジャーナル投稿の際のチェックリスト

5 そのジャーナルウェブサイトには出版社名が明記されているか

正当な出版社であれば、ジャーナルのウェブサイトには出版社名を記述しているはずである。

6 そのジャーナルの査読方法が明白であるか

正当なジャーナルであれば、査読のプロセスがはっきりと明記されている。

7 そのジャーナルの出版社から請求される内容がはっきり書かれているか

論文出版に関わる費用について明示されていない場合は注意が必要である。

8 そのジャーナルにおいて編集委員会が設置されているか

ほとんどの学術ジャーナルには、ジャーナルの対象分野の専門家から成る編集委員会が設置されている。

ジャーナル投稿の際のチェックリスト

9 編集委員がそのジャーナルについて自身のウェブサイトに掲載しているか

編集委員として挙げている名が架空の人物であったり、そもそも編集委員として依頼されていない・承諾していないのに名を挙げている場合があるので注意が必要である。

10 そのジャーナルの出版社が信頼できるような出版・研究業界の団体に参加しているか

(例1)Committee on Publication Ethics (COPE:出版規範委員会)

(例2)Open Access Scholarly Publishers' Association (OASPA:オープンアクセス学術出版社協会)

ジャーナル投稿の際のチェックリスト

11 そのジャーナルが以下の様な信頼できるデータベースに収録されているか

(例1)Scopus

出版社エルゼビアの運用するデータベース

(例2)Web of Science

Clarivate Analyticsが提供するデータベース

12 そのジャーナルが以下の様な信頼できるリストに登録されているか

(例1)Directory of Open Access Journals

(DOAJ:スウェーデンのルンド大学が運営するOAジャーナルのデータベース)

(例2)International Network for the Availability of Scientific Publications

(INASP:科学出版物入手のための国際ネットワーク)のオンラインジャーナルプラットフォーム

*バングラデシュ、ネパール、スリランカ、中央アメリカ、モンゴルで出版されたジャーナルの場合

(例3)African Journals Online(AJO:アフリカで出版された学術雑誌のオンラインライブラリー)

*アフリカで出版されたジャーナルの場合

④チェックリスト実行の結果

チェックリスト実行の結果



複数項目が「No」となってしまった場合

注意する必要があります



疑わしい結果になった場合

周りの人に相談しましょう